

くまもと

平成24年3月 発行／熊本市

第3号

水守だより

【くまもと水守事務局】

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号 熊本市環境局水保全課

電話096-328-2436 FAX096-359-9945 mizuhozen@city.kumamoto.lg.jp



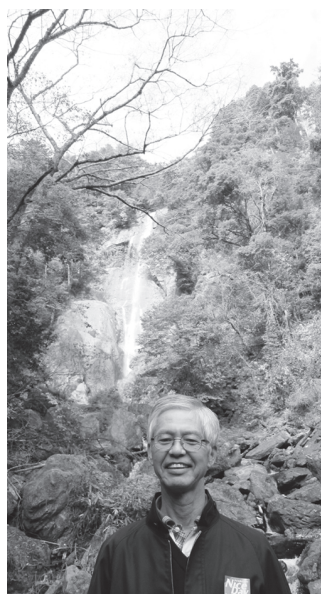
くまもと水守とは、熊本の水を愛して活動する人たちの愛称で、熊本市が登録しています。

水守さん訪問

①お名前・水守名／②活動内容は？／
③最近どうですか？／④他の水守さんへ一言



①丹生慶次郎さん(水前寺の水守)/②絶滅危惧種になっている「水前寺のり」を養殖しています。養殖は大変難しく、最初の2年間は失敗ばかりでしたが、様々な工夫や害虫駆除に魚のハエを入れたりしてなんとか養殖できるようになりました。完全無農薬で鉄、カルシウム等が豊富な健康食品です。/③2年前に発見した「翠玉」(すいぎょく)を増やしていく予定です。昨年水前寺のりに含まれる「サクラ」を使用した化粧品ができました。/④水前寺のりが育てられる環境を守っていく事、それは私達も美味しい水を飲んでいける事です。昔のトイレは汲み取り式でしたが、現在は下水道が整備され、その分多くの水を使っています。中水道を行政が進めるのを期待しています。



①吉永敏之さん(水環境案内水守)/②今のところ、具体的活動をしているわけではありませんが、住まいが熊本市西部であり、金峰山湧水群やその周辺の水環境案内をしたいと思います。/③ここ2年ほどで熊本市の水遺産めぐりや県内の昭和の名水100選、平成の名水100選のほとんどを現地めぐりました。保全すべき水を再認識しています。/④最近、熊本市のほか各方面で地下水の硝酸性窒素汚染の問題などが話題になり、市民の意識高揚によいと思います。水の汚染問題対策には行政側も鋭意努力していると思いますので、対策を単に行政に押し付けるに終わらず、自らの行動或いは行政側への具体的建設的意見を申し出るなど協力が必要と思います。



①富田邦弘さん(植木町名水水守)/②熊本市水の科学館で子ども達と一緒に湧水の仕組みや見とれてしまう不思議さについて考えています。また、県内の湧水を見て回ったり、近くの川の状態を水生生物やパックテストを使い監視しています。/③最近水俣の方に湧水を見に行ってきました。袋湾の海底から湧き出る湧水があったのですが、その湧水量の多さで海が盛り上がっていたのには驚かされました。また、3月17日(土)に水の科学館がリニューアルオープンしました。楽しく学べるようになり、オープン当日は子ども達がスタンプラリーを楽しみながら学んでいました。/④「水」に関心がある方々の集まりである水守。他の水守さん達とのつながりが嬉しいです。水の科学館の水の実験室に私が回った湧水の写真を掲載しておりますので、ぜひ見に来てください。



①田邊千香子さん(観光コンシェルジュ水守/写真左)・小城聡子さん(観光コンシェルジュ水守/写真右)/②くまもと森都心プラザ2階にあります観光・郷土情報センターで観光コンシェルジュとして働いています。観光・郷土情報センターの「水のくに・くまもと」ブースを活用し、熊本の水をPRしています。/③昨年から定期的に開催された「水の科学館 出前講座」に合わせて、観光・郷土情報センターの「水のくに・くまもと」ブースへのお客様の関心が高まってきていると感じます。「熊本市の水道水」(熊本の「地下水」)の試飲コーナーは、当センターオープン以来、皆様にご好評頂いております。/④館内の展示ブースやよかとこマップ、HPブログやメルマガ等での情報発信に力を入れています。他の水守さんたちからの情報もお待ちしております。

水守さんからのおたより



※このコーナーでは、水守さんの活動報告や日頃の思いなどを掲載します。

世界子ども水フォーラムフォローアップに参加し熊本の水をPRしたり、他都市の水について学んだりするなど、精力的に活動されている junior 水守の森本さんの思いを報告いただきました。

世界子ども水フォーラムフォローアップ

in東京2011に参加して junior 水守・森本優貴美

昨年に引き続き、世界子ども水フォーラムフォローアップin東京2011に参加しました。

熊本の水文化(清正の治水事業や現在の市の取り組みなど)や自然(地下水や白川)を紹介すると共に、日本各地の様々な水事情について学ぶことができました。特に、東日本大震災後の被災地での水事情や節水法についても知ることができました。また、他県の中高生と共に「水」についての討論をしました。ずっと熊本に住んでいると忘れてしまいがちですが、やはり熊本の「水」や「水を守る取り組み」は全国的に見ても珍しく、素晴らしいことだと思います。

これからも、市民全員でより良い水環境をつくり、熊本の水、さらには水文化を守っていきましょう！



政令指定都市誕生記念「わくわく江津湖フェスタ」

平成24年5月3日(木)～6月3日(日)の期間に、政令指定都市誕生記念「わくわく江津湖フェスタ」が、市民憩いの場、日本一の地下水都市・熊本の象徴的な存在でもある江津湖一帯で開催されます。1ヶ月の間に様々な団体がイベントを開催します。皆さんもぜひ江津湖へお越し下さい。

【主なイベント】

クラシック水辺コンサート くまもとさるく TKUの日 親子で江津湖再発見
第9回身近な水環境の全国一斉調査in江津湖 江津湖の水中写真展
春のこどもまつり サプライZOO(ズー) くまもと環境フェア

【水保全課主宰】

上江津湖早朝散策 日時:5月25日(金)7:30～9:30 定員:30名
場所:水前寺成趣園～中ノ島駐車場

江津湖博士選手権 日時:5月20日(日)予選10:00～ 最終決定戦13:00～
場所:熊本市動植物園 植物園広場 対象:小学5・6年生

くまもと水守 2012例会 報告

水守同士の情報交換や、互いの交流が益々盛んになることを目的に、くまもと水守・2012例会を開催しました。今回は政令指定都市誕生記念「わくわく江津湖フェスタ」に先駆けて、市民の憩いの場として親しまれている「江津湖」をテーマに開催しましたので、その要旨をご報告します。約30名の方に参加いただきました。

【日 時】2月25日(土)午後1時から4時半まで

【場 所】熊本市動植物園 緑の相談所

【プログラム】Ⅰ 活動発表

Ⅱ 江津湖散策

Ⅲ 健軍水源地見学

※ 閉会后、交流会(茶話会)



Ⅰ 活動発表

今回は「江津湖」をテーマに3名の水守さんに、「熊本の地下水」をテーマに1名の水守さんに発表していただきました。

①本田公三さん(ホテル水守)

「水と生きる、動植物園」

本田公三さんは2011年11月に開催されました「SAGA14」での発表内容をお話いただきました。洪水で動植物園が水で溢れている写真や水前寺成趣園に動物園があった頃の写真など、普段見たり聞いたりすることがない、貴重なお話を聞くことができました。また、動植物園で行われている「ホテルの里づくり」のほかに「ホテルを育てる事務局」もされていて、江津湖のゲンジボタルを増やす計画も立てていらっしゃるようでした。「ホテルは1年中生きており、目の当たりにできるようにしたい。それが色々な生き物が暮らしている江津湖を守ることに繋がるし、それこそ美しい水環境を取り戻せるのではないかと思います。」とおっしゃっていました。



②田川勝稔さん(江津湖湧水水守)

「江津湖ゆうすい会～2011年活動報告～」

田川勝稔さんは平成21年に水辺の清掃及び湧水の保護を目的に「江津湖ゆうすい会」を設立され、上江津湖にある神水湧水地の清掃活動を主にされてこられました。その結果、良好な自然環境が維持されるようになり、設立当初は少なかった希少植物のヒメバイカモが、今では全体に繁茂するようになったそうです。2011年は新たに県立図書館南側にある日本庭園の清掃活動も始められました。清掃前は雑草が生い茂り水面が見えない状況でしたが、田川さん達努力により見違えるほどきれいになりました。今後も継続して神水湧水地及び日本庭園を重点的に清掃していかれるそうです。また、上江津湖のウォーターレタスについては市で徹底的に除去を行ったため今後は監視を続け、ブラジルチドメグサは大きくなる前に除去作業を行う予定とのこと。



③平野昌宏さん(江津湖水守)

「江津湖を語る～幼少期より江津湖を見てきて～」

平野昌宏さんは、上江津湖付近で生まれ育たれ、幼い頃から江津湖を見てこられました。平野さんが子供の頃は、江津湖はとてもきれいで川ガニやうなぎ、シジミを捕られていたそうです。その後、現在の市立体育館のところに協和発酵が設立され、そこからの排水や都市化の進展により生活雑排水が増えた結果、江津湖は汚れていったそうです。昭和43年から20年間熊本を離れ、再び戻ってこられた時はとても驚かれたそうです。それは、江津湖が遊泳禁止になっていた事です。気づいてみれば魚が少なくなり、その中に背骨が曲がった魚も泳いでいて、魚も植物も死に絶えるようであったそうです。その頃から下水道が整備され、健軍川や藻器堀川には木炭が敷かれた事で、次第に浄化して魚も元に戻っていったそうです。そうしたら今度は外来種の浮草や魚が増えてきました。平野さんも上江津湖の清掃をされておられますが、最近はウォーターレタスとブラジルチドメグサがほとんど見られなくなったので少し安堵されているそうです。



④福田光治さん(地下水水守)

「市民が行う硝酸性窒素水質検査の試み」

福田光治さんはご自身で水質検査をされた結果をお話いただきました。まず、硝酸性窒素を計るのにパックテストのほか地下水の流れも調べたいという事で、水温計や導電率計等も購入されたそうです。それから、金峰山山麓湧泉・阿蘇カルデラ内阿蘇谷湧泉・木山川沿い湧泉・江津湖周辺湧泉を測定されました。測定された結果、水守だより第2号でご報告いただきました、金峰山水守の田中浩二さん達が測定された硝酸性窒素の濃度と似ており、精度的には維持できているそうです。その他にもpH・水温・電気伝導度・酸化還元電位peを計る事で様々なグループ分けができ、地下水の流れの区分が市民の目でもできるのではないかとのことでした。今後は硝酸性窒素の濃度が高かった金峰山山麓湧泉をもう1回、その他阿蘇の南郷谷の方の湧泉、浮島周辺の湧泉の水質検査をやっていききたいそうです。



II 江津湖散策

江津湖水守・永田幸一さんの案内で、江津湖を散策しました。当日はあいにくの雨ということもあり、屋根のある動植物園の南口で阿蘇から江津湖までの地下水の流れや江津湖についてお話いただきました。皆さんに分かりやすいように、ご自身で集められた資料を見せながら説明していただきました。永田さんはよく江津湖を散策しておられて、一番好きな眺めはこの動植物園の南口から見た景色だそうです。「江津湖にスズキがいた」という新聞の切抜きを見せていただきましたが、永田さんは江津湖でボラが跳ねる様子を見られたことがあるそうです。また、鴨がウォーターレタスを食べているような様子も見られたようで、実際に鴨がかじった跡があるウォーターレタスも準備してくださっていました。よく江津湖を散策されている永田さんだからこそのお話でした。



永田さんが地下水の流れ等を説明



江津湖の湧水を見学される皆さん

Ⅲ 健軍水源地見学

動植物園の隣にある健軍水源地を見学しました。施設の安全確保の面から常時閉鎖されておりますが、財団法人水道サービス公社にご協力いただき、見学させていただきました。

熊本市は、現在1日に平均約22万トンの水道水を供給していますが、このうちのおよそ4分の1にあたる約6万トンを健軍水源地で供給しています。構内には、11本の井戸があり、7本は自噴、4本は取水ポンプで汲み上げています。雨で見えづらかったのですが、日本最大級の井戸である5号井も見ることができました。轟々と音をあげて湧出する様子に圧倒されます。この5号井は1日に約1万5千トンの地下水が湧き出しています。この健軍水源地5号井の見学を一番の目的として参加された方もいらっしゃったのではないのでしょうか。



水道サービス公社が健軍水源地を説明



5号井を覗き込む水守の皆さん

※交流会(茶話会)

閉会后、動植物園近くにありますテラス江津湖で交流会を行いました。皆さんそれぞれのテーブルで和気あいあいとした雰囲気楽しくお話されていらっしゃいました。各水守さんの活動や近況報告などを聞く予定でしたが、楽しい時間を過ごすあまり、つい時間を忘れてしまい、今年水守になられてお越しいただいた方のご紹介のみとなってしまいました。短い時間ではありましたが、水守の皆さんとお話させていただき、楽しい時間を過ごしました。

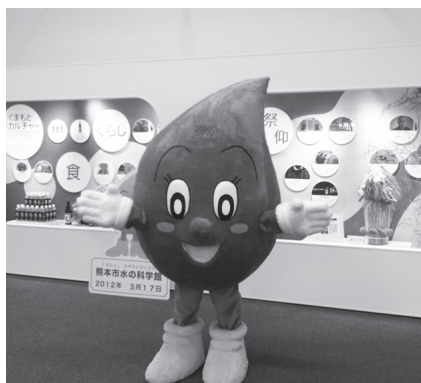


交流会会場の「テラス江津湖」

ニュース

水の科学館がリニューアルオープン

地下水のことや水道のことを勉強できる学習施設として平成2年に誕生した水の科学館が、3月17日(土)にリニューアルオープンしました。熊本の地下水はもちろん、上水道、下水道について、体験しながら楽しく学ぶことができます。リニューアルオープン当日に来ていた子どもたちもみんな楽しんでいました。お子さんやお孫さんを連れてお出かけされませんか？



ウオッタくんの出迎え



下水道の仕組みを学ぶトンネル

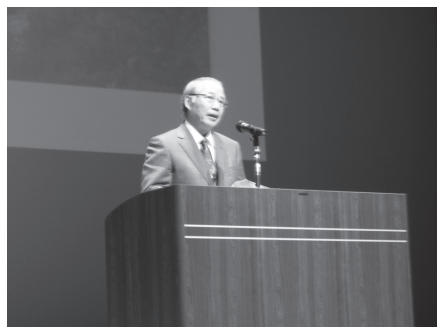


すぐろくで水を学ぶコーナー

～熊本の水を守るシンポジウム～

平成24年1月21日(土)にくまもと森都心プラザホールにて「熊本の水を守るシンポジウム」を開催しました。第1部では熊本水遺産第4次登録証交付式が行われ、新たに23件が登録されて全83件となりました。

第2部では大田黒浩一さんが「大田黒浩一の熊本の水はよかば〜い!」と題して基調講演をしていただきました。熊本の水について大田黒さんの実体験などを織り交ぜながら、面白おかしく、わかりやすくお話いただきました。第3部ではパネルディスカッションがおこなわれました。引き続き大田黒浩一さんがコーディネーターを勤められ、パネリストとして肥後銀行頭取の甲斐隆博さん、地下水水守の大住和佑さん、シニアソムリエの米野真理子さん、幸山市長のメンバーで行われました。それぞれの立場や活動状況、水に関する想い、それから熊本の水を守るため今後どのような活動が必要なのか、それぞれの意見をお話いただきました。



第4次熊本水遺産登録報告



パネルディスカッション

【事務局からのお知らせ】

①住所や連絡先は変わっていませんか？

転勤などで、住所、連絡先などが変わった場合は、事務局までお知らせください。まずは電話かメールで。

②活動情報をお寄せください
清掃活動、講演会、その他イベント、些細な情報で結構ですのでメール・FAXなどで情報を提供してください。

編集後記

遅くなりましたが、水守だより第3号を発行することができました。まだ一部の水守さんしかお話できていませんが、皆さんの「水」に対する想いを伺うことができ、大変勉強になりました。まだお話できていない水守さんからも色々とお話を伺い、少しでも成長していきたいです。水守の皆さん今後ともよろしくお願い致します。また、水守だより作成でお世話になった水守の皆さんありがとうございました。(S)